

# 第19回 全国棚田(千枚田)サミット 開催状況

開催テーマ

人、まち、棚田ともに未来へ  
～伝えよう! 托る心・受け継ごう! 豊かな恵み～

平成25年11月8日(金)～9日(土) 和歌山県有田川町開催

11月8日(金)

## ■ オープニングイベント

《 会場 : 吉備中学校体育館 》

「第19回全国棚田(千枚田)サミット」は、北は北海道、南は鹿児島県から2日間で延べ830名ものご参加をいただき、開催されました。地元の八幡(やはた)小学校小学生・清水保育所園児の「棚田へ行こう!」の大合唱で、晴れ晴れしくサミットが開会いたしました。



## ■ 開会式

《 会場 : 吉備中学校体育館 》

開会式では、以下の皆さまからごあいさつをいただきました。

□全国棚田(千枚田)連絡協議会

会長 工藤 秀一 氏(熊本県山都町長)

□第19回棚田(千枚田)サミット実行委員会

会長 中山 正隆 氏(和歌山県有田川町長)

□開催地 和歌山県知事 仁坂 吉伸 氏

□来賓 近畿農政局長 中村 英男 氏

□来賓 和歌山県議会議長 山田 正彦 氏



## ■ 基調講演

《 会場 : 吉備中学校体育館 》

### 「棚田はなぜ美しいのか」

写真家 青柳 健二 氏

日本の棚田百選 134 か所すべてを写真に収め、世界各国の棚田を追いかける青柳氏が、美しい棚田写真とともに「棚田の美」を語ってくださいました。



## ■ 事例発表 1

《 会場 : 吉備中学校体育館 》

### 『沼の棚田』における取り組み

和歌山大学観光学部「棚田ふあむ」

田口 貴浩 氏

有田川町沼地区で地元と一緒に棚田保全活動を行う和歌山大学観光学部学生ボランティア「棚田ふあむ」の報告をしてくださいました。



## ■ 事例発表 2

《 会場 : 吉備中学校体育館 》

### 「中山間地での活動から学んだこと」

県立有田中央高等学校の皆さん

「中山間地域の農業と暮らし」をテーマに、フィールドワークなど学習に取り組む有田中央高校の生徒の皆さんが、「農業クラブ近畿大会」で優秀賞となった研究内容を発表してくださいました。



## ■ 第1分科会

《 会場 : 金屋文化保健センター 》

「棚田と文化的景観保全のあり方、取り組み」

コーディネーター : 海老澤 衷 氏

サブコーディネーター : 海津 一朗 氏

重要文化的景観の保全を巡って、「姥捨ての棚田」(長野県千曲市)、「あらぎ島および三田・清水の農山村景観」(和歌山県有田川町)、「田染荘小崎の農村景観」(大分県豊後高田市)の三地域が意見交換を行った初めての機会であり、文化財行政上、一つの画期となる分科会となりました。



## ■ 第2分科会

《 会場 : きび会館 大集会室 》

「梯田(棚田・段々畑:条件不利地域における土地利用)の意義と保全」

コーディネーター : 養父 志乃夫 氏

急峻な地形で耕作する「梯田」は、農作物の生産に加え、地域やその流域の暮らしを守る防災機能を発揮しているため、農家の高齢化や後継者不足で農地が維持できなくなる前に、先人たちの知恵や作法を継承する必要があるということを確認しました。



## ■ 第3分科会

《 会場 : きび体育館 》

「**棚田保全活動を契機とする地域活性化・地域づくり**」

コーディネーター : 福井 隆 氏

「地域の文化の象徴」である棚田を、次の世代へ引き継いでいくために、貨幣や交流価値を創出するだけでなく、地域にとって重要な教育や福祉などの多様な価値を、棚田を舞台にして、仲間とともに創り出していくことこそが大事であると感じられる分科会となりました。



## ■ 第4分科会

《 会場 : きびドーム 文化ホール 》

「**学生ボランティアと地域による棚田保全への取り組み**」

コーディネーター : 大浦 由美 氏

棚田における「学生ボランティア」について、受け入れ地域側と学生側の双方の意見が出る討論が行われ、多くの若者たちが確実に農村に目を向けつつあることに大きな可能性を感じる機会となりました。



## ■ 首長会議

《 会場 ： 地域交流センターA L E C 》

「中山間地域の持続的保全に向けた支援の充実」

コーディネーター ： 千賀 裕太郎 氏

「中山間地域の持続的保全に向けた支援の充実」をテーマに全国 15 自治体の首長等が出席して、活発な議論が行われました。「ふるさと納税」のこと、「鳥獣害」の深刻化、また法制度面での充実等、幅広い論議がなされました。



## ■ 棚田保存会意見交換会

《 会場 ： きびドーム 多目的研修室 》

コーディネーター ： 中島 峰広 氏

全国の棚田保全活動をされている方々が一堂に会し、普段から抱える悩み等を熱く語り合い、各活動の課題に対する良い意見も活発に出了ました。まったく時間が足りないくらい、熱い意見交換会になりました。

(※今回のサミットで初めての開催)



## ■ 全体交流会

◀ 会場：吉備中学校体育館 ▶

中島峰広氏の乾杯のご発声から始まった交流会は、総勢 600 名の方々の参加をうけ、大いに盛り上がりました。地元・和歌山の食材をふんだんに使った料理がふるまわれ、アトラクションとしては、和歌山県那智勝浦町から提供の「マグロの解体ショー」や抽選会も行われました。

次期（第 20 回）開催地である山形県上山市の皆さんから、「きてけらっしやい！」と開催にむけた強い意気込みが感じられる場面もありました。



11月9日(土)

## ■ 現地見学会

### 「あらぎ島と上湯用水路コース」

「あらぎ島」は、江戸時代初期に当時の庄屋笠松左太夫によって開かれた水田で、湾曲した有田川の流れて沿って扇状になっている棚田です。地元の方々や地元小中高校生の皆さんからの「いらっしやい！」が響く、あたたかい見学会になりました。



## ■ 現地見学会

### 「あらぎ島と三田の棚田コース」

「三田の棚田」はあらぎ島の対岸に広がる田園地域にある棚田で、棚田の原点ともいえる農村と水田の共存景観を形成しています。棚田の天辺にある蔵王権現社にて、押し寿司などの郷土料理のふるまいもありました。



## ■ 現地見学会

### 「沼の棚田コース」

「沼の棚田」は標高 869mの堂鳴海山を背に230m～600m付近に、急傾斜な棚田が拓けています。地元の方々や和歌山大学生の皆さんの案内や休憩所もあり、参加者へのおもてなしをしてくれました。



## ■ 分科会まとめ

《 会場 : しみずふれあいドーム 》

報告者 : 中島 峰広 氏  
福井 隆 氏

四つの各分科会と首長会議、意見交換会内で  
交わされた議論の内容のまとめを報告してい  
ただきました。



## ■ 共同宣言

《 会場 : しみずふれあいドーム 》

発表者 : あらぎ島景観保全保存会  
畑中さんご一家

畑中さんご一家により共同宣言が発表され、  
棚田を保全するために必要な我々の取組みや、  
国の制度拡充について提言をされました。小  
さな子ども四人の姿に、次世代への期待が集  
まり盛大な拍手が会場からわきました。



## ■ 閉会式・閉会イベント「お餅まき」

《 会場 : しみずふれあいドーム 》

全国棚田（千枚田）連絡協議会 工藤秀一会長  
と、地元有田川町区長会 井上喜代治会長によ  
り閉会のごあいさつがなされました。

また、閉会後のエンディングは、地元の伝統  
文化となっている「お餅まき」で、大盛り上  
がりのうちに終了しました。



最後に、全国各地から多くのご参加と、関係各位のご協力のもと大盛況のうちにサミットを終  
えることができましたことに感謝申し上げます。皆さまが、また和歌山県「有田川町」にお越しに  
なられることを心よりお待ちしております。